

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ふくふくKidsClub				公表日		2026年 4月 27日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			0	適切である。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	適切に配置している。	継続。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	おもちゃ等使い終わったら写真付きで直す場所を確保している。 段差のない空間づくりをしている。	子どもたちが過ごしやすい環境に配慮する。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	事業者にも送迎車の室内清掃やアルコール消毒等毎日実施している。	継続。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	施設できる個別の静養室あり。	子どもたちが過ごしやすい環境に配慮する。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	毎日朝礼、終礼を行っている。 子どもの出来事や伝達事項の情報共有している。	継続。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者様、園・学校等の状況を聞き、共有している。業務改善に活かしている。	継続。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎日朝礼、終礼を行っている。 子どもの出来事や伝達事項の情報共有している。	職員同士の仕事のしやすさ、継続して仕事ができる環境作りが課題である。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	第三者の外部評価は実施していない。	継続。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	毎月研修を行っている。	継続。			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	職員全員が把握できるように工夫している。	継続。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	職員全員が把握できるように工夫している。	継続。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	職員全員が把握できるように工夫している。	継続。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	情報共有できている。	継続。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	職員共有欄に記入するなど工夫している。	継続。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	5領域に関連して計画作成している。	継続。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	イベントミーティングで全職員で話し合っている。	継続。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	毎月クッキングや工作、野外活動等様々な経験ができるように工夫している。	継続。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	個別活動と集団活動も適時組み合わせ、支援している。	継続。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎日朝礼で情報共有している。	継続。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	終礼で情報共有している。	継続。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	支援記録をしている。	継続。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的な見直しを行っている。	継続。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	6	0	自立支援と日常生活の充実のための活動を行っている。	継続。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	子どもが自分で選択できるように支援している。	継続。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	担当医者会議に参加している。	継続。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	職員が連携をとっている。	継続。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	送迎時や電話にて情報共有を行っている。	継続。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	開所1年目でその機会がない。	今後必要時検討。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3	開所1年目で12歳までの利用のため対応していないが情報収集していく。	継続。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	研修会に参加した。	今後必要時検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	公園や児童館等に行き、地域の子どもたちと交流している。	地域交流を検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	参加できていない。	今後必要時参加検討。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	子ども状況や課題について共有している。	継続。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	保護者会を実施した。	継続。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に説明をしている。	継続。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	面談を行っている。	継続。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	同意を得ている。	継続。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	保護者様からの悩み等をお聞きして全職員で話し合いフィードバックしている。	継続。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0	保護者会をおこなったり。ほかの事業所の交流会のお知らせを発信した。	継続。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	保護者からの悩み等聞いたときは全職員で情報共有しフィードバックしている。	継続。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	イベントや等をお便りやブログで情報共有している。	継続。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	鍵付きの書庫にて保管、シュレター使用後破棄する等留意している。	継続。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	2	子どもの障がい状況に配慮し対応している。	継続。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	実施できていないが、必要に応じて実施を検討。	検討課題。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各種マニュアルを準備し、訓練を行っている。	継続。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	定期的に非常災害対策として避難訓練や動画学習等を行っている。	継続。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	服薬やアレルギー等の情報共有している。	継続。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	アレルギー表示を行い情報共有と対応している。	継続。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	ホームページに公表している。	継続。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	周知している。	継続。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	事前に話し合い情報共有し、注意喚起を行っている。	継続。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	研修会を実施している。	継続。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	身体拘束の事例はないが、必要時所定の手続きを行う。	継続。	